

宮城県石巻市・震災復興学習支援 レポートNo.46

石巻 出前寺子屋「検定合格講座」

◆活動報告その46 [2013年6月1日]

仙台地方の天気予報は、本日、晴れ後曇り。午前7時、大きなスーツケースを引きながら独り松戸を出発する。本日(6月1日)は2013年度第1回の漢字検定試験が松戸と石巻で同時に開催される日でもある。松戸の自塾では塾長(谷村志厚)が試験全体を統括し、石巻へは6人分の試験問題を私(谷村和枝)が持参したのである。

試験問題も入っている大荷物を引き、午前8時2分には上野駅で本日の同行者竹内悠さんと合流する。竹内さんは自塾の優秀な卒業生で、今回、船橋市よりボランティアを志願してくれた素敵な若い女性である。車中の人となった竹内さんと私は「はやて」号の中で、本日のスケジュールを確認し、共に仮眠をとる。私も竹内さんも前夜残業をして、睡眠が不足していたのである。そして、午前9時45分に仙台駅前バス停で東北大生の雨宮君が合流して本日の遠方スタッフ3人が揃った。高速バスに乗り換え、午前11時10分に石巻駅前に3人は降り立った。



この日の指導スタッフ、右から雨宮くん、竹内さんそして和枝。背景はJR石巻駅、震災から2年を経て、すっきりきれいに整備されている

時間に余裕があったので、次に、タクシーで門脇小学校と南浜町に向かった。我々が乗ったタクシーの運転手さんは「震災語り部」の活動をしている方であった。出前寺子屋と直接の関わりはないが、語られた内容が今の被災地の情景を映し出しているの、本レポートで少し記していきたい。

2011年3月11日、日和幼稚園の降園時間に送迎バスが園児の自宅がある海沿いの町めざし、つまり津波が来る方向へと走っていた。12人の園児のうち、7人は途中で降車して親御さんに引き渡されたが、5人が車内に残っていた。バスは津波にのまれ、5人の園児は亡くなったが、バスのドライバーは1人生き残った。現在園児の親御さんたちが提訴して、裁判が行われている、と語った。「その幼稚園はここを曲がるとすぐです」と、タクシーのスピードを落としながら語ってくれたところは、津波の被害を全く受けなかった日和山の中腹であった。「弁解できませんよ」と言う語り部運転手さんの言葉は重かった。亡くなった5人の園児の親御さんの闘いは今まさに、なのである。園児死亡のニュースは聞いていたが、ここまでの内容は知らなかった。月2回のペースで石巻に通ってはいても、被災地の実情でわかることは一部だけだと気付かされた。今日はこの後も気付きの続きがあった。

ランチ・ミーティングを石巻駅前の「大もりや」さんでいつものように済ませた後、我々3人は再びタクシーに乗り、開設仮設団地に向かった。何と偶然にも、今回も先程の語り部運転手さんのタクシーであった。我々3人の喜んだ顔を見て、運転手さんはニコッと笑い、今度は仮設団地の安普請について語ってくれた。車のスピードを落として指さしながら、「あそこに見えるのが、一棟250万円くらいの安普請の仮設。トタンの屋根と壁で夏は暑く、冬が寒くて文句がどんどん出てきて、修理に修理を重ねて、結局1棟700万円以上もかかってしまった」と語った。小綺麗な仮設団地の区画にさしかかると、「ここは仮設だけれど、きれいでしょ。大手の会社が1棟450~500万円かけて作ったから、住んでいる人は『ここを出たくない』って言っていますよ。近くにコンビニと交番もあるしね」と説明してくれた。今住んでいる人が「出たくない」と思う仮設住宅があることに私は驚いた。



全体集会の風景。手前は英検4.5級受講生

語り部運転手さんに礼を言い、昼の12時40分、我々は拠点センターに入った。午後1時30分、前半の学習が始まった。英検準2級講座と英検4級過去問題チャレンジ講座である。前者は私が、後者は竹内さんと雨宮くんが担当して、スムーズに学習が進行していった。4級過去問題の結果は、

石巻 出前寺子屋 「検定合格講座」の仕組み

活動期間：第Ⅰ期 2011年8月16日~2012年2月4日
 第Ⅱ期 2012年2月19日~6月17日
 第Ⅲ期 2012年6月16日~11月10日
 第Ⅳ期 2012年11月24日~2013年2月23日
 第Ⅴ期 2013年3月10日~6月8日

①スクーリングの実績と予定(漢検・英検学習)

2011年8月16日、9月4日、18日、10月2日、16日、11月5日、20日、12月11日、24日、2012年1月8日、22日、2月4日、19日、3月4日、18日、4月1日、15日、29日、5月13日、27日、6月2日、9日、17日、7月1日、22日、8月5日、26日、9月9日、23日、10月7日、13日、21日、11月10日、25日、12月9日、23日、2013年1月13日、26日、2月9日、24日、3月10日、24日、4月7日、21日、5月12日、6月1日、16日

②会場 仮設開設ささえあい拠点センター集会所

③検定受験(第Ⅴ期)

平成25年度第1回英検 2013年6月8日

平成25年度第1回漢検 2013年6月1日

④受講対象者 仮設住宅、借上げ住宅等に居住する被災市民

⑤受講者特典 教材費・スクーリング受講費・検定料の全額が無料

中学2年生の3人が56/65点、58/65点、54/65点という高得点を出してきた。この過去問の4級合格ラインは39/65点であるから、3人の点数は素晴らしい、の一言である。この3人には次回から3級の学習へと進むことを約束した。しかし、もう1人の中学2年生は25/65点で合格ラインに届かず、相談した結果、次回からは4級を個別学習で復習することにした。



この日は第1回漢検実施日。受験者は6名だった

全体集会の後、午後2時50分、佐久間先生のもとで漢字検定試験が実施された。3級2名、2・4・5・6級は各1名で合計6人の方が受験をされた。しっかりと書けた人、苦戦した人、半々である。好結果を期待するのは厳しいかもしれない。検定受験の寺子屋運営は少し軌道を修正する必要がありそうである。午後4時30分、本日の試験と学習の全てが終わり、皆が家路についた。本日の出席は、漢検21名、英検11名(重複あり)の方である。次回は父の日、6月16日に開催される。 報告：谷村和枝

過去4回の漢字検定実績・68名受験中合格者56名
 2級-13名、準2級-14名、3級-12名、4級-6名、5級-6名、
 6級-3名、7級-2名 (小中学生19名、一般37名)

英語検定実績・13名受験中合格者12名
 準2級-1名、3級-4名 (準2・3級とも1.2次完全合格者)
 4級-4名、5級-3名 (小中高生9名、一般3名)

ご支援ありがとうございます

当活動は活動参加者個人の負担と、ご援助をいただく皆さんの浄財で運営しています。第Ⅲ期活動からは日本キリスト教協議会・震災対策室および東北ヘルプ(第Ⅱ期から継続)から活動資金支援をいただいています。

主管: AIM学習セミナー(私塾ネット会員・松戸市)
 後援: 全日本私塾教育ネットワーク(略称・私塾ネット)
 支援: 日本キリスト教協議会・震災対策室(JEDRO)